

厚生労働省エイズ対策研究事業

「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」

○研究協力 NGO

THCGV やろっこ (東北 HIV コミュニケーションズ、代表 小浜耕治)

〒983-0851 仙台市宮城野区幸町 4-7-2 みやぎいのちと人権リソースセンター内
TEL/FAX:022-298-8532

Rainbow Ring (代表 佐藤未光)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-15-13 第 2 中江ビル 301(akta)
TEL/FAX:03-3226-8998

Angel Life Nagoya (代表 石田敏彦)

〒460-0008 名古屋市中区栄 4 丁目 18-16 NEWS BLD. 3 階
TEL:052-784-6363

MASH 大阪 (代表 鬼塚哲郎)

〒530-0027 大阪市北区堂山町 17-5 巽ビル 401 号室
TEL:06-6361-9306 FAX:6361-9300

Love act Fukuoka (代表 森田朋樹)

〒810-0022 福岡市中央区薬院 2 丁目 3-5-602 エイズワーカー福岡

○コミュニティセンター

コミュニティセンターakta (アクタ) 運営:Rainbow Ring

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-15-13 第 2 中江ビル 301(akta)
TEL/FAX:03-3226-8998

コミュニティセンターdista (ディスタ) 運営:MASH 大阪

〒530-0027 大阪市北区堂山町 17-5 巽ビル 401 号室
TEL:06-6361-9306 FAX:6361-9300

コミュニティセンターRISE 運営:Angel Life Nagoya

* 平成 18 年より「3N」は「RISE」に名称変更

〒460-0008 名古屋市中区栄 4 丁目 18-16 NEWS BLD. 3 階
TEL:052-784-6363

〔参考文献〕

- 1)厚生労働省エイズ動向委員会：平成 16 年エイズ発生動向年報、平成 17 年 3 月。
- 2)市川誠一：MSM(Men who have sex with men)における HIV 感染予防介入—プロジェクト MASH 大阪について、日本エイズ学会誌、5 巻、174-181、2003 年
- 3)市川誠一、他：男性同性間の HIV 感染の動向と予防介入に関する研究、平成 14 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究」研究報告書、107-129、平成 15 年 3 月。
- 4)内海 眞、他：名古屋地区における同性間の HIV/STI 感染予防啓発の普及促進に関する研究、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」総括・分担研究報告書、42-62、平成 18 年 3 月。
- 5)木原正博、他：日本人の HIV/STD 関連知識、性行動、性意識についての全国調査、平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の疫学研究」研究報告書、565-583、平成 12 年 3 月。
- 6)日高庸晴、他：ゲイ・バイセクシュアル男性の精神的健康とセルフエスティーム及び性行動に関する研究、平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の疫学研究」研究報告書、197-207、平成 12 年 3 月。
- 7)日高庸晴、他：インターネットによる MSM の HIV 感染予防に関する行動疫学研究—Reach Online 2005—、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」総括・分担研究報告書、118-134、平成 18 年 3 月。
- 8)厚生労働省「同性間性的接触におけるエイズ予防対策に関する検討会」中間報告書、平成 15 年 3 月。
- 9)市川誠一、他：関東地区における男性・同性間性的接触者(MSM)集団におけるコンドーム使用及び HIV 感染に関する疫学調査、平成 8 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV の疫学と対策に関する研究」研究報告書、168-174、1997 年 3 月。
- 10)市川誠一、他：関東及び関西地域における男性同性間の HIV 感染に関する疫学研究、平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の疫学研究」研究報告書、149-169、平成 12 年 3 月。

- 11)市川誠一、他：「男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進に関する研究」、平成 16 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業・総合研究報告書、平成 17 年 3 月。
- 12)市川誠一、他：「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業・総括・分担研究報告書、平成 18 年 3 月。
- 13)鬼塚哲郎、他：MASH 大阪 2000～2002 年度の事業の総括、平成 14 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究」研究報告書、134-149、2003。
- 14)鬼塚哲郎、他：大阪地域における男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進—MASH 大阪 2002—2004 年度事業の総括、平成 16 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進に関する研究」総合研究報告書、47-56、平成 17 年 3 月。
- 15)鬼塚哲郎、他：大阪地域における同性間の HIV/STI 感染予防啓発の普及促進に関する研究—MASH 大阪 2005 年度事業の総括、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」総括・分担研究報告書、75-94、平成 18 年 3 月。
- 16)山本政弘、他：福岡地域における男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進、平成 16 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進に関する研究」総合研究報告書、79-88、平成 17 年 3 月。
- 17)山本政弘、他：福岡地域における同性間の HIV/STI 感染予防啓発の普及促進に関する研究—MASH 大阪 2005 年度事業の総括、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」総括・分担研究報告書、95-109、平成 18 年 3 月。
- 18)Centers for Disease Control and Prevention：Revised Guidelines for HIV Counseling, Testing, and Referral、MMWR 2001；50(No. RR-19)
- 19)佐藤未光、他：東京地域における男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進、平成 16 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進に関する研究」総合研究報告書、21-33、平成 17 年 3 月。
- 20)佐藤未光、他：東京地域における同性間の HIV/STI 感染予防啓発の普及促進に関する研究—MASH 大阪 2005 年度事業の総括、平成 17 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究」総括・分担研究報告書、33-41、平成 18 年 3 月。

〔参考資料〕

研究班でゲイ NGO が開発し普及した啓発資材

1. コンドームキットの配布（アウトリーチプログラム）
 - 1) 大阪：コンドーム大作戦 PART II（MASH 大阪）
 - 2) 東京：デリヘル・プロジェクト（Rainbow Ring）

2. コミュニティペーパーによる情報還元
 - 1) 大阪：SaL+（さるぼじ、MASH 大阪）
 - 2) 福岡：Season（Love act Fukuoka）

3. 啓発資材（ポストカード等による情報普及）
 - 1) 梅毒葉（しおり 2002 年）
 - 2) Rainbow Ring ポストカード

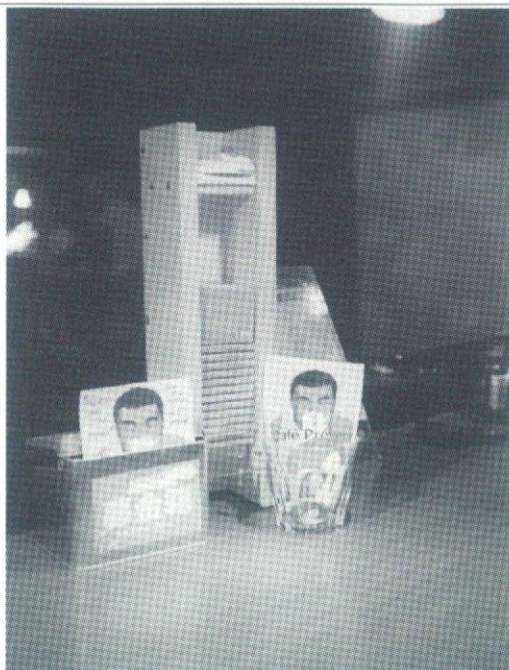
4. Living Together Project

5. S/H（えすえいち）

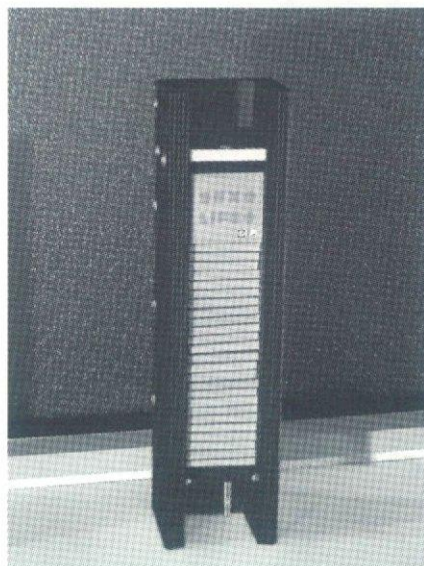
1. コンドームキットの配布（アウトリーチプログラム）

1) 大阪：コンドーム大作戦 PART II（MASH 大阪）

コンドーム大作戦 PART2（2002 年～2005 年 3 月）



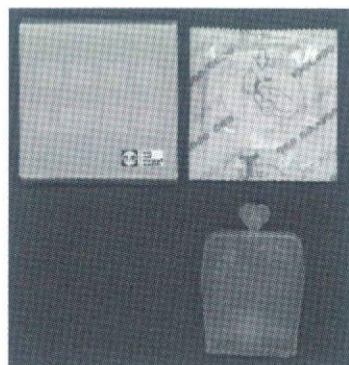
コンドームディスペンサー（白）



コンドームディスペンサー（茶）



コンドームの取り出し方



コンドームキット（ゴムとローション）

コンドーム大作戦について

平成 14 年度から開始した本プログラムの骨子

(1) 目的

- コンドームへのアクセスを向上させる
- イメージを変える：避妊から予防へ
- バー・コミュニティとの関係を深める
- 潤滑剤使用の定着をはかる

(2) 啓発資材

- コンドームと潤滑剤をワンセットにしたもの
- 啓発色を抑え、持ち運びやすさを優先
- メーカーと共同開発

(3) 配付方法

- コンドーム・ディスペンサーによる、バーでのお持ち帰り。
- ゴムっ子による、街頭およびイベント会場での手渡し配付

(4) 配布目標と実績

- 大阪全体で毎年 5-6 万個配布を計画、3 年間目標を達成した。

(5) 評価と今後の展望

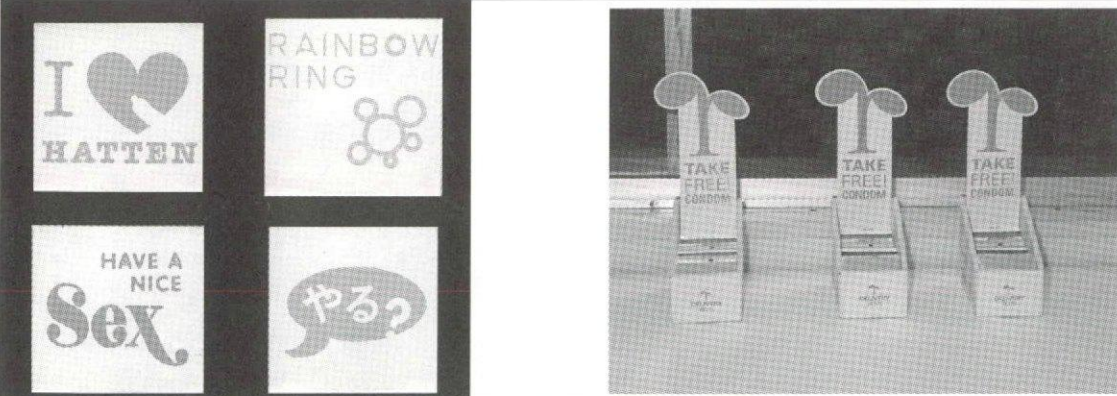
コンドーム大作戦は 3 年間実施し、参加店舗のうち廃業した店舗もあったが、それを上回る数の新規参入の店舗があったため、配布店舗数は漸増し、2004 年 1 月現在で 151 軒に達した。これは MASH 大阪とコンタクトのあるバー 180 軒のうちの 84% を占めていた。

当初の目的であったコンドーム入手の向上、コンドームイメージの変容、バーを中心とするゲイ・コミュニティとの関係の構築はほぼ達成された。

2) 東京：デリヘル・プロジェクト (Rainbow Ring)

コンドーム強化月間のゴムとディスペンサー (2002年11~12月)

コンドームアウトリーチ用のダンボール紙製のディスペンサー、バー等の施設のトイレ洗面台やカウンター横などにおかせてもらい、コンドームや他の資材を配布する。



C' MON DELIVERY BOYS! (2003年9月~)

アウトリーチ活動のボランティア募集のフライヤー



デリヘルボーイ募集!

Rainbow Ring は、コンドームやポスターのデリバリ・チームを結成するよ。

いっしょにやんない?

こちちは! Rainbow Ring では、二丁目のバーやハッテン場やクラブパーティー…にコンドームやポスターを配達するデリバリーチームを結成します!名付けて「デリヘルボーイ」。DELIVERYの「デリ」+HEALTHの「ヘル」がチーム名の由来(ヘルス嬢の「ヘル」じゃないから安心して!笑)

東京中のゲイが遊ぶ場所にコンドームをあふれさせる計画なんだ。コンドームだけじゃなくて、セックス、健康についてのアイデアやニュースなんかも配達したい。

チーム・ウェアは、busybee デザインのツナギに Tombow 製のキャップ。コレがまた、かなりカッコいい!(ホントのとこ、おそろいのバイクなんてのも作りたかったけど、ちょっとそれはムリだった…涙)でね、チームのマークは双葉のマーク。蒔いた種がちかいウチに芽を出すといいね、なんてメッセージを込めてる。

「一人より二人よりももっともっと多い方がいいよ(RIPSLYME)」ってコトで…みんなでやんない?連絡待ってます。

① RINBOW RING (デリヘル) コンドームパッケージ 第1弾

好みの多様性とコンドームのプレゼンスを高めるために様々なデザインとし、訴求性を求めた啓発手法。

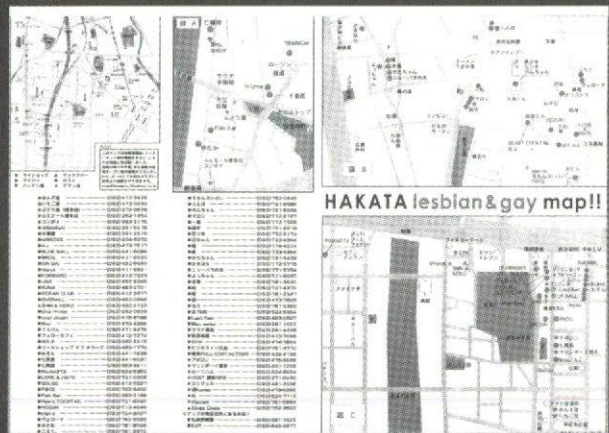
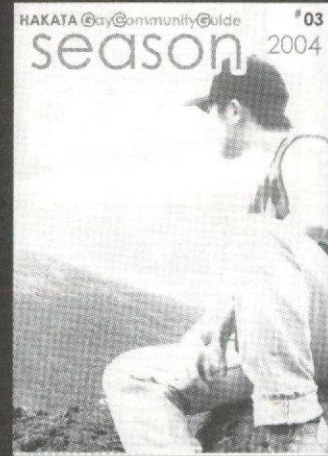
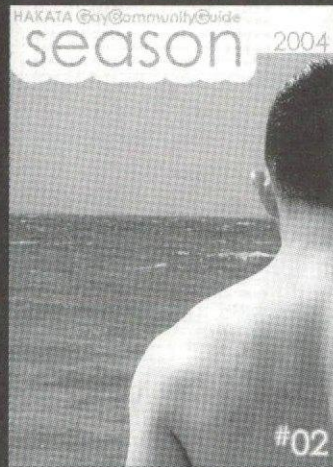
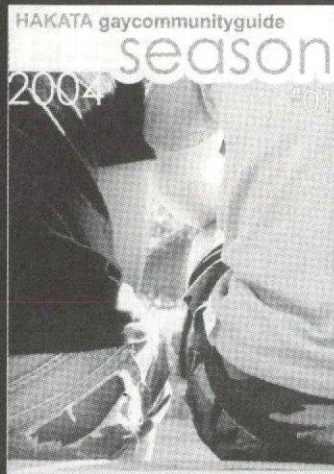


② RAINBOW RING コンドームパッケージ 2004年～2005年

2004年1月～		3月～		
				
5月～		6月～		
				
8月～		10月～		
				
11月	11月～	2005年2月～		
				
10月～		11月	11月～	
				
2005年3月～				
				

2) 福岡 : season (Love act Fukuoka)

HAKATA gay community guide



3. 啓発資材（ポストカード等による情報普及）

1) 梅毒薬（しおり 2002年）



■SWITCH2001の検査で、梅毒陽性という結果が出た人は全体の25.5%。約4人に1人は梅毒に感染していたことになります。その中で「精密検査が治療が必要」と出た人は全体の9.6%。これは一般的な感染率に比べ10倍～30倍という非常に高い割合でした。

■梅毒は今後さらに感染が拡大するのではないかと予測されています。それは、梅毒が他の性感染症（STI）に比べ、感染力がとても、とーーーーーっても強いからです。

■アナルセックスはもちろんのこと、フェラチオやリミング（ケツ舐め）といったオーラルセックスだけでも、梅毒感染する可能性が高いのです。このことは、2001年に英国で発表された報告で、ゲイの梅毒感染者の3分の1以上(!!)が、また別の報告では2分の1(!!!)以上がオーラルセックスで梅毒に感染していた・・・とあることからもうかがうことができます。

■あなたがアナルセックスをするとき100%コンドームを使っていたとしても、オーラルセックスで梅毒に感染している可能性は充分あるということです。

■おまけに、梅毒に感染しているとHIVに感染する確率が飛躍的に高くなる・・・ということも最近分かってきました。ホント、うかうかしてはいられません。

■梅毒は、確かに治療すれば完治するし、昔ほど怖い病気ではなくなったのかもしれませんが。でも自覚症状がなかったり症状が消えたから「治った」と思い込んだりしてそのまま放置しておく、他の人にうつしたり、HIVや他の性感染症（STI）にダブル感染することもあります。そうなれば、まさに「弱目に祟り目」状態ですよ。

■それに、「一度完治したら免疫ができて二度と感染しない」・・・なーんて思ったら大間違い！無防備なセックスをすれば何度でも感染する可能性はあるのです。

だから、梅毒の早期発見・早期治療、そして再感染の予防を・・・ね！！

2) ポストカード

RAINBOW RING ポストカード (2002年8月)



ゲイの仲間にも今でもすっごくふえ続けている HIV 感染

だけどぼくらはハッテン大好き！エイズがコワくたって、エッチは絶対やめらんない！だから、「エッチのある生活」とHIVとコンドーム、どれも同じくらい身近な存在なんだ。そんな思いがみんなをつないで、やがて大きなネットワークになる……それが Rainbow Ring。

これから、イベントやゲイ雑誌、ポスター、WEB 等々、いろんなところでメッセージを発信したり、「ハッテン場でコンドームを使いやすくするには？」「なんでわかっていてもゴムがつけられないことがあるんだろう？」なんてことをマジで追求したり。

キミのそばで、ゲイの仲間同士で、どんどん広がっていく Rainbow Ring は、リアルなゲイのセックライフを応援します。どうぞよろしく！

CLUB CAMPAIGN コンドーム強化月間ポストカード(2002年11~12月)

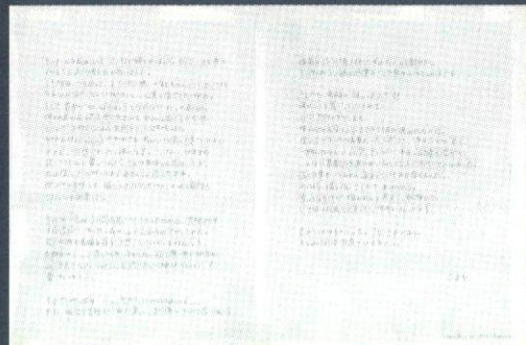


チョー 増えてるよ、HIV！
日本全国で「新たに」HIVに感染していることがわかったゲイ/バイ男性の数は、2001年、過去最高の403人となり（2000年は291人。4割もアップ！）、2002年7月～9月の新規感染者数はさらに過去最高のペースを記録しました（日本人ゲイ/バイ男性累計は2,074人！）。この数字には表れていない、気づかずに感染している人たちもいるでしょう。AIDSはまだ終わっていません。感染しないに越したことはないのだから、これからも SAFER SEX しましょ！

4. Living Together Project (東京・Rainbow Ring・ぷれいす東京)

Living Together LETTERS

HIV 陽性者の手記を集め、手書きのままを印刷した冊子。HIV に感染したことを知ったとき、パートナーや友人に話したとき、医師からの告知や友人からの言葉を聴いたとき、そして親への思いなどが綴られている。



Living Together Lounge(2004年9月～)

音楽のゆうべ、HIV 陽性者の手記のリーディング

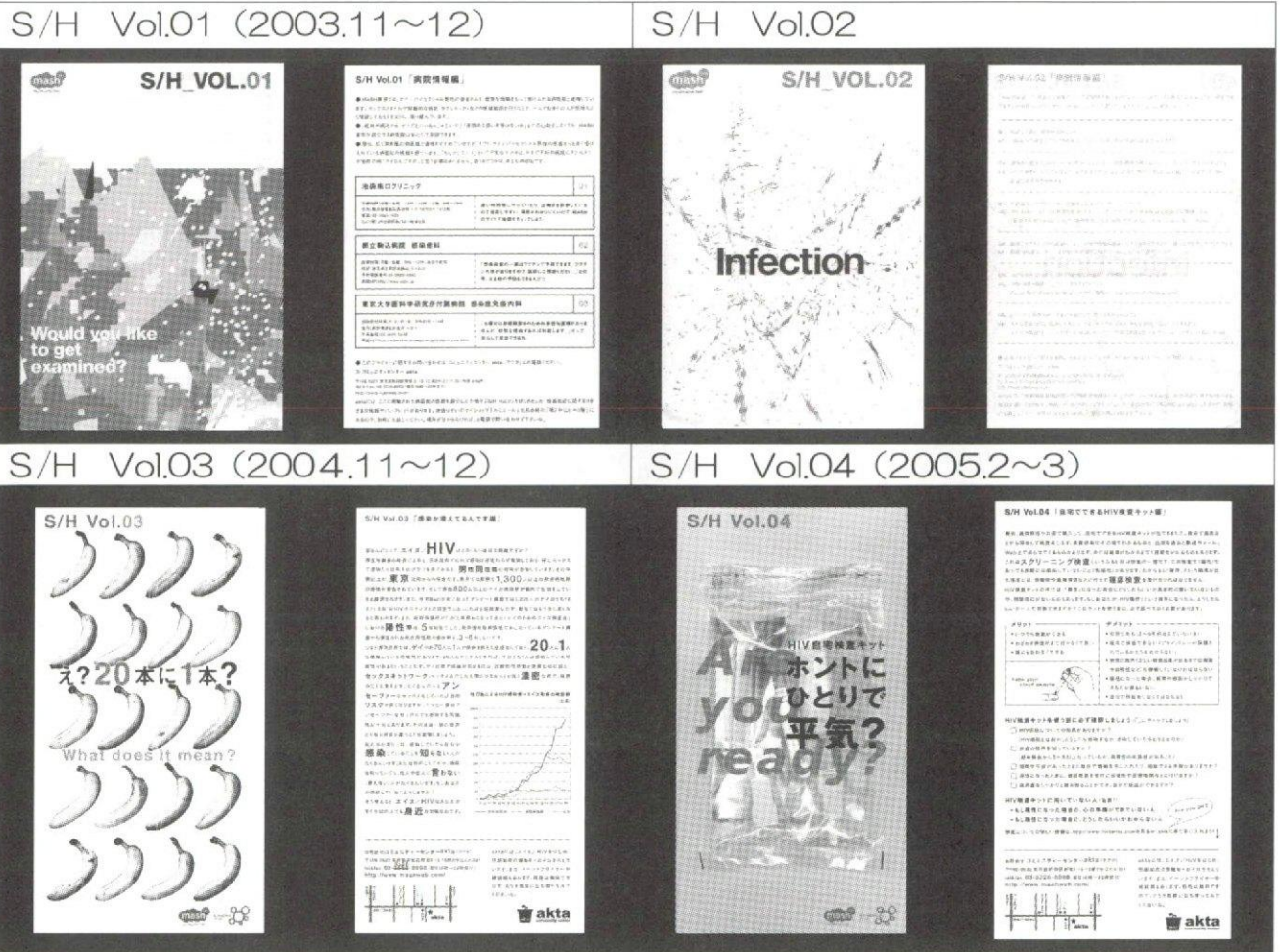
月例で開催し、多種多様なゲストの参加により参加者層を拡大し、HIV 陽性者の手記を参加者がリーディングすることで、「HIV と共に生きる」ことを生の声として触れる機会を共有する場を提供する。

ゲイの NGO スタッフによる企画であるが、他の層にも有効なプログラムとして評価を得ている。



5. S/H (えすえいち、東京・Rainbow Ring)

HIV・AIDS、性感染症に関する情報をA5サイズほどの大きさの裏面に掲載した資料。



S/H Vol.03 「感染が増えてるんです 編」

皆さんにとって、エイズ/HIVはどのくらい身近な問題ですか？

厚生労働省の報告によると、日本国内でのHIV感染は相変わらず増加しており、特にセックスで感染した日本人のグラフを見てみると、男性同性間の感染が急増しています。その半数以上が、東京近郊からの報告です。東京では累積で1,300人以上の男性同性間の感染が報告されています。そして現在800人以上のゲイの感染者が都内で生活していると推測されます。また、今年のBadiがおこなったアンケート調査では、1,225人のゲイのうち16人(1.3%)がHIV陽性との回答でした。これは全国調査なので、都内ではもう少し高くなると思われます。また、新宿保健所がこの三年間おこなってきた「ゲイのためのエイズ検査会」における陽性率は、5%前後でした。南新宿検査相談室でおこなっているアンケート調査から推定される男性同性間の感染率も、3~6%ぐらいです。

つまり東京近郊では、ゲイの約70人に1人が感染を抱えて生活をしており、20人に1人は感染している可能性があります。20人とセックスをすれば、そのうち1人は感染している可能性があるということです。ゲイの間で感染が広がるのは、比較的性活動が活発なに加え、セックスネットワーク(セックスを介した人間のつながり)が狭く濃密なので、当然のことと言えます。たくさんの人とアンセーファなセックスをしていれば当然リスクが高くなりますが、たった一度のアンセーファなセックスでも感染する可能性が十分にあります。その点は一般の世界とかなり状況が違うことを認識しましょう。

私たちの周りには、感染していても自分が感染していることを知らない人がたくさんいます。また当然のことですが、感染を知っていても、友人や恋人に言わない(言えない)人がたくさんいます。もしあなたが感染していたらどうしますか？ そう考えると、エイズ/HIVはあなたのすぐそばの、とても身近な問題なのです。

お問い合わせ：コミュニティセンターakta (アクタ)

〒160-0022東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301

tel&fax: 03-3226-8998 (毎日16時~22時受付)

<http://www.mashweb.com/>

aktaには、エイズ/HIVをはじめ、性感染症の情報をイロイロそろえています。また、イベントフライヤーや雑誌類もあります。利用は無料ですので、どうぞ気軽に立ち寄ってみてくださいね。

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究
－平成 18 年度 総括・分担研究報告書－

発行日 平成 19 年 3 月 31 日
発行者 主任研究者 市川誠一(名古屋市立大学)
発行所 研究班事務局
名古屋市立大学大学院看護学研究科感染予防学研究室
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
TEL 052-853-8089

印刷 (株)丸和印刷

本報告書に掲載された論文及び図表には著作権が発生しております。
複写等の利用にはご注意ください。